

高度情報化社会の実現にむけて

新「大山町」の情報化を考える

～アンケート集計結果報告～

回収率は 39.6%

新町の建設に向けた重要課題として、高度情報通信基盤の整備（インターネットの高速化やケーブルテレビ等を利用した双方向での情報伝達の仕組み等）があります。子どもからお年寄りまでが快適な日常生活を営むためには、道路や上下水道の整備と同様、この高度情報通信基盤の整備が必要不可欠な時代になってきました。

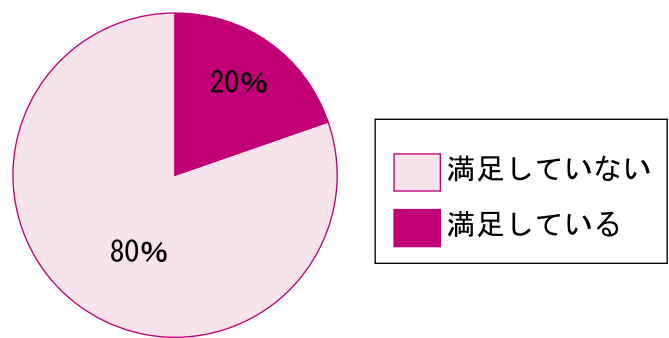
そこで、3町の住民のみなさんが地域情報化に何を望んでいるのか、役場としてより良い行政サービスを提供するためにどんな利用方法があるのかを検討するため、3町の町民有志16人と各町の情報担当者でブロードバンド検討委員会を立ち上げました。先日、この検討委員会の参考にするため、3町の全世帯5,728世帯を対象にアンケート調査を実施しました。回収数は2,270世帯、回収率39.6%でした。

その集計結果の概要についてお知らせします。

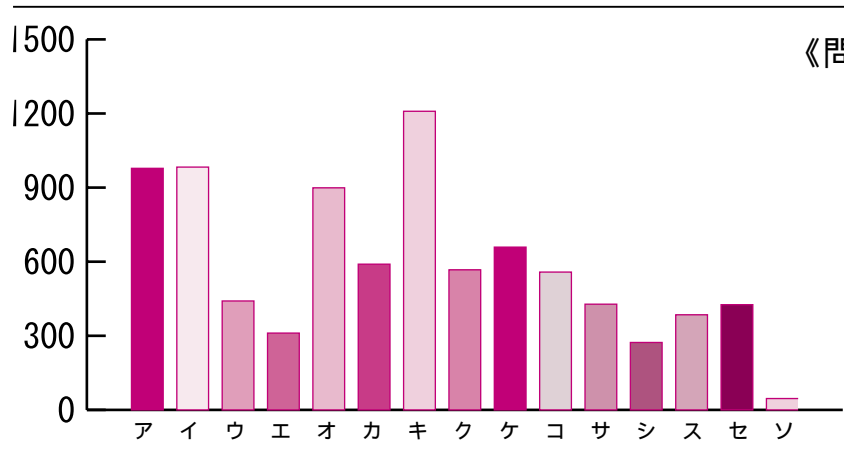
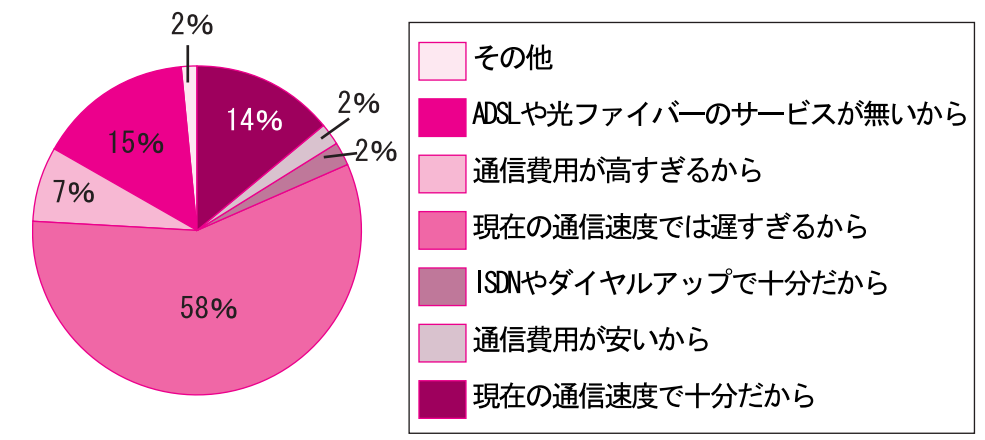
【インターネット利用世帯への質問】

《問》現在のインターネット環境に満足していますか

《問》その満足度の理由は



インターネット利用世帯の8割は、通信速度が遅いといった理由で、現在の通信環境に不満を感じています。都市部ではあたりまえとなっているブロードバンド（高速大容量通信）が利用できないことが原因と考えられます。

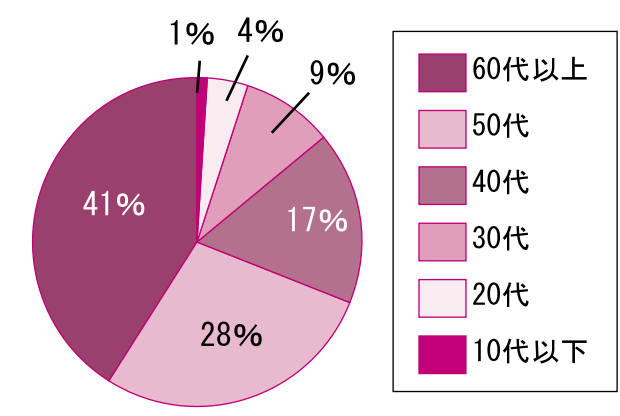


《問》あなたはどのようなサービスを受けられると良いと思いますか（複数回答可）

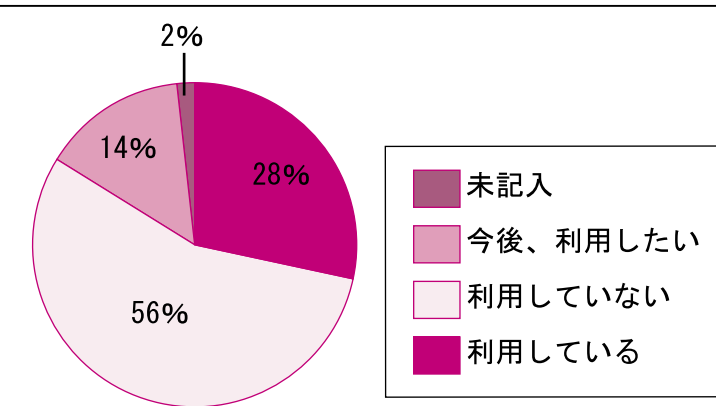
- (ア) 多チャンネル化
- (イ) TV電話サービス
- (ウ) 生活支援サービス
- (エ) 各種サークル情報提供
- (オ) 文字放送
- (カ) 映像提供サービス
- (キ) 災害時の避難情報
- (ク) 情報検索や地図提供
- (ケ) 高速インターネット回線
- (コ) IP電話サービス
- (サ) 公共施設予約
- (シ) イベント参加申し込み
- (ス) Eメールや掲示板
- (セ) 電子納税・申請
- (ソ) その他

誰もが暮らしやすいまちづくりのために、災害時の避難情報の提供、テレビ電話機能、テレビの多チャンネル化、町内や地域のお知らせ、高速インターネット、学校行事や議会中継などが多く要望されています。

《問》あなたの年齢は？



《問》あなたは自宅でインターネットを利用していますか



50代以上の高齢層の回答者が、全体の7割を占めていますが、3世帯に1世帯は、自宅でインターネットを利用していることがわかりました。

回収率が4割程度にとどまった理由としては、やはり情報化社会と言われながら、情報伝達の利便性が地域社会に浸透していないことが考えられます。

このような現状も考え合わせながら、誰もが手軽に利用でき、便利に感じる情報通信基盤の整備について、ブロードバンド検討委員会で検討しているところです。

この件に関するお問い合わせは
企画財政課 (54 5202) まで



ブロードバンド検討委員会